

学びに向かう力フランチート

〇〇〇立〇〇〇小学校

学校教育目標

校内研究主題

我が校の学ぶ力向上策からみる課題

我が校が目指す「学びに向かう力、人間性等」 【5年生】

「言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う」とは

幅広い分野の図書を読もうとする姿や、目的をもって話し合う中で、どのような言葉を選んで表現するのが適切であるか判断しようとする姿



単元で目指す学びに向かう児童の具体的な姿

【教科書「光村図書5年」】

話すこと・聞くこと

「きいて、きいて、きいてみよう」→自分の意図に応じて、積極的に話を聞いて内容を捉えようとしている。

「よりよい学校生活のために」→粘り強く互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、学習の見通しをもって、よりよい活動のために考えをまとめている。

書くこと

「みんなが過ごしやすい町へ」→進んで自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって報告文を書こうとしている。

「グラフや表を用いて書こう」→進んで自分の考えを伝えるために、教材文の文章と図表の結び付け方を生かして、意見文を書こうとしている。

読むこと

「言葉の意味が分かること」→粘り強く文章全体の構成を捉え、今までの学習を生かして自分が選んだ図書の要旨を把握しようとしている。

「たずねびと」→粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを伝え合おうとしている。